**椛島**

**小さな島と巨大な柱状の絶壁**

小さく、山が多く、人口が少ないこの島は、奈留島のすぐ南にあり、五島列島最大の島である福江島の16キロメートル東にあります。この島は、南海岸に沿って連なる険しいデイサイトの崖と数多くの小さな入り江で最もよく知られています。柔らかい玄武岩が硬いデイサイトに両脇からはさまれている崖肌は、類稀の高さを持つ柱状節理です。これらの岩柱は推定約800万年前に発生した溶岩流が冷え固まってできました。

椛島で最も景観の良いスポットのひとつは、島の南東端の小島にある鷹ノ巣灯台です。柱状節理は海からしか見えず、この海岸沿いには定期船は運行していないので、ここにたどり着くには多少の頑張りが必要です。荒波や潮流のためこのエリアに近寄れないことがあるものの、福江島と奈留島から海上タクシーが利用できます。

椛島の周囲の長さは約25キロメートルで、島の土地の85パーセントが山地です。島には農業に利用できる平地がないため、約175人の島の人口のうちのほとんどが漁業に従事しています。しかし、島の北部にある大きな採石場でデイサイト岩柱が切り出されているため、デイサイトはこの島の経済に貢献しています。この長さ1キロメートル、高さ260メートル採石場の規模は九州最大級です。